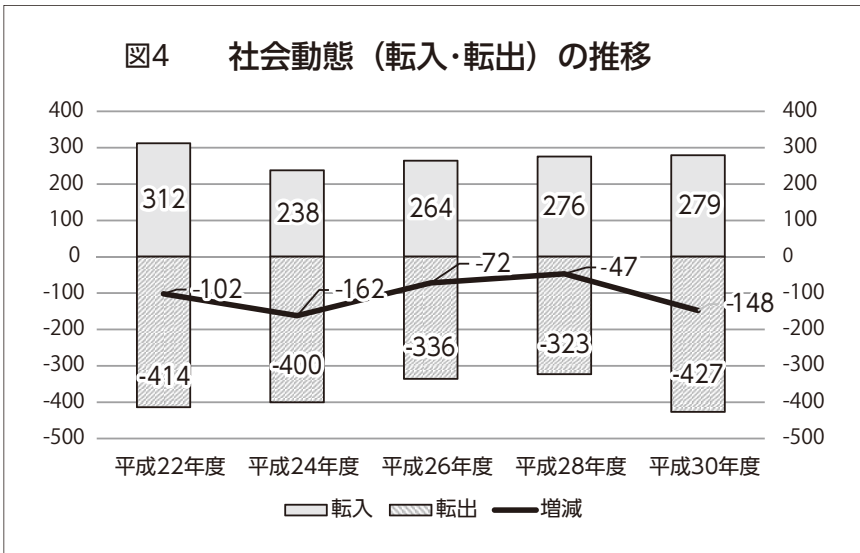


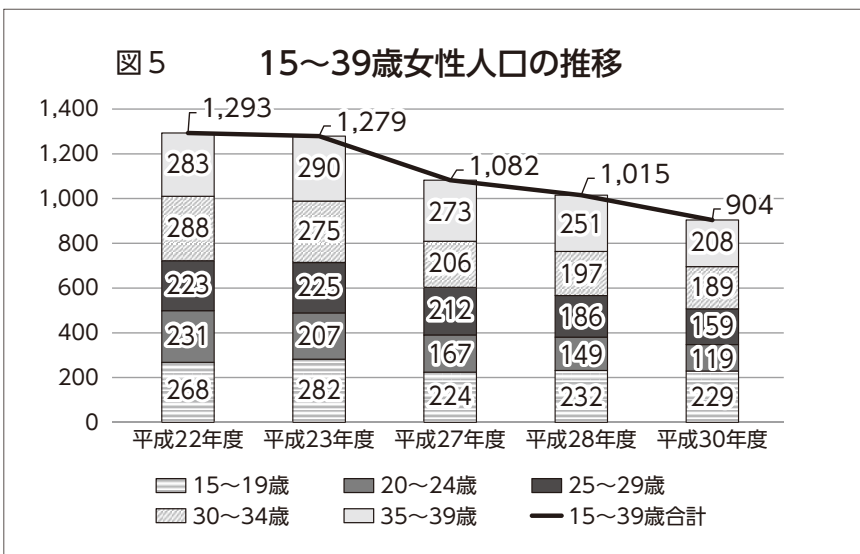
自然動態（出生・死亡）について、小野町の近年の出生数・死亡数は概ね横ばいとなっていて、出生数より死亡数が多い自然減の状態が続いています。

ただし平成30年度においては前年度に比べると出生数に減少が見られました。（図3）



社会動態（転入・転出）について、小野町の転入数と転出数について比較すると、転出数のほうが多い転出超過の状態が続いています。

また平成26年度以降、縮小していた増減の幅が平成30年度には急激に大きくなっていくことがわかります。（図4）



平成23年度時点で15歳から19歳だった女性が20歳から24歳になる平成28年度までに282人から149人に減少しています。ほかの年代より大きな減少が見られるこの年代については進学、就職などにより小野町から転出していることが考えられます。

また20歳から24歳が25歳から29歳、25歳から29歳が30歳から34歳になる年代についても減少が続いており、これは結婚などの理由により町外に転出しているということも考えられます。（図5）

一方、同年代の男性についても15歳から19歳が20歳から24歳になる年代におい

てやはり大きく減少する傾向があります。男性についても進学、就職などにより転出していることが考えられます。しかし、その他の年代でも一定数の減少が見られる女性と比較すると、男性は25歳から29歳、30歳から34歳になる年代において大幅な減少はあまり見られません。